

日 時 平成29年2月23日(木) 午後6時～午後8時

場 所 佐野工科高校 佐工会館1階

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 鎌野 博 東 壽美雄 熊取谷 要 本橋 正雄  
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤元 雄一郎 伊藤 慎祐 藤原 瑞穂 山本 康子  
小寺 翔太 藤 俊幸

## 次 第

(1)准校長挨拶

(2)本校現状について

①H28 進路状況

②学校自己診断結果

③H28 年度学校評価 及び H29 年度学校経営計画

(3)協議

① 学校教育自己診断アンケート 集計結果

② 平成 28 年度学校評価

③ 平成 29 年度学校経営計画案

④ 意見交換

⑤ その他

## 協議の内容につて

○ 本校の現状について、

進路指導部、生徒指導部、教務部から進路状況や進級・卒業状況および生徒指導状況の説明の後、学校自己診断の診断結果について、説明をした。その後、准校長より学校評価及び平成 29 年度学校経営計画の報告及び説明を行い、協議へと移った。

○ 協議について

・ 本校の現状についての委員からの質問

Q. 女生徒の進路未決定者について、詳しく教えてほしい。

A. 家庭の事情(子供が小さいなど)で、正社員で時間を拘束されるよりパートタイムで働く方が、時間に余裕があるため、現時点では未決定者として扱っている者が数名います。

Q. 発明くふう展について、詳しく教えてほしい。

A. 大阪発明くふう展に、定時制からも出品しました。本年度は 211 名の出品があり、特別賞 11 点、奨励賞 5 点、入選 6 点、団体賞 3 団体で、全日制の産業創造系からの作品が、大阪市教育委員会賞を、定時制からの作品が、入選となりました。また、佐野工科高等学校として団体賞もいただきました。定時制としても、受賞生徒だけでなく、周りの生徒も関心を示すなど、かなり有意義なものとなり、来年度へつなげたい。

Q. インターンシップについて教えてほしい。

A. 定時制では、ほとんど生徒が、正社員やアルバイトで何らかの仕事に就いているため、インターンシップ

というものが、そぐわないので本校独自の方法を模索している。来年度何とか形にできないかと考えている案として、企業とのタイアップにより、アルバイトもできない生徒を最低賃金で就業体験できる企業の誘致について、いろいろな企業に話をしているが、かなりハードルの高いものとなっている。

・ 委員からの提言および要望

進学に関して、学費の関係で進学をあきらめたという生徒がいたようだが、可能な限り奨学金について早くから説明をし、そのようなことが起こらないように注意していただきたい。

学校教育診断では、生徒へのアンケートを中心に見たとき、「校長先生の話は興味深くわかりやすい。」の結果が悪いが、この部分に関していろいろな工夫をして改善することができるのではないか。また、「学校のホームページをよく見る。」も評価が低い、ホームページを度々見る生徒が多いというのが良いとは思えないので、この状況でもよいのではないかと。ただ、外部への情報発信機能としては、更新頻度を上げることは常套手段ではないだろうか。

保護者アンケートでは、授業参観や学校行事に参加した保護者の結果が悪いということについて、保護者が行きやすい学校というのは、大切なことだと思うが、これが学校の評価としての判断基準になるのかということは、大阪府として考えなければならないのではないかと。

生徒のアンケートでは、先生方が生徒に対して行っていることに対して評価が高い、また、保護者に関しても同じであることから、学校をサービス業とすれば非常に手厚いサービスをしていることが分かるのではないかと。

学校協議会としては、先生方の診断結果に関しては、厳しい評価が出てきているが、生徒や保護者からは非常に良い評価が出ている、悪い評価が出ているものに関しては、評価の目的や基準があいまいな気がする。よって、全体としては問題なく、むしろ良いと判断できる。

学校経営計画について、ICT教育に関しては、授業が分かりやすいなど評価はよいが、学力が伴う工夫をしてほしい。また、基本的な生活習慣の育成では、5分の休憩時間にも門を閉鎖することについて、給食がないので生徒には厳しい状況かもしれないが、慣れるまで先生方には頑張ってもらいたいが、次の手立てとして校時の変更など考えてほしい。

最後に、いろいろな課題を准校長先生を中心に取り組んでおられるので、来年度もその成果を期待したい。